

学校内でできる体験型観光プラン

一日で農業を体験でき、動物と触れ合える観光プラン

秋の観光プラン 実施！



先生方のお子さんと学校内でできる秋の観光プランを実施しました。グリーンツーリズムを目的に私たち「まるたま」が主催しました！！

！本番！



稲刈り体験



エッグポプリ作り



実施した様子

谷口 芽衣 (たにぐちめい)
岡山県立瀬戸南高等学校 2年

学校内でできる体験型観光プラン

一日で農業を体験でき、動物と触れ合える観光プラン

谷口 芽衣



活動概要

活動の内容

実際の体験を通して、岡山の主要産業でもある農業や地域の食文化を学んでもらうことを目的に、学校内でできる体験型観光プランを計画し、10月26日に瀬戸南高校で学校の先生のお子さんを対象に秋の観光プランを実施しました。学校の田んぼを使った稲刈り体験や、鶏が卵を産んだ際に出ている汚卵や破卵を使用した植物の香りが楽しめるエッグポプリづくり、学校で飼っているヤギとウサギのふれあい体験を実施しました。また、ふれあい体験のみだけではなく、「お手」「おかわり」「おまわり」などのヤギの調教披露も行いました。

活動の特徴(新規性・発展性)

体験型観光プランは、それぞれの季節でしか体験できない内容を取り入れており、特別な体験をしてほしいという思いがあります。また、農業高校ならではの風景も観光していただけるのも特徴です。

確立に向けて、春と秋のプランを在校生と先生方のお子さんを対象に実施しました。初めは、春コースの一部であるお花見のみ実施しましたが、秋コースでは、規模を大きくするために人数と内容を増やして実施しました。

活動の成果

体験型観光プランを農業の内容で実施したことで、地域との繋がりを強化することが出来ました。地元岡山の農業を理解することで、地域との繋がりが魅力、地域資源の大切さを感じる機会となり、地域社会への理解が深まったと思います。また、農業への興味・関心を喚起することができ、子供たちが将来的に農業に関わりたいという意欲を示すことが出来たと思います。更に、実際の体験を通して新しい視点や考えを与えることが出来ました

課題の設定と意図

取り上げた課題は、鶏飼料の価格上昇や果物の規格外廃棄など農業の課題です。この課題を選んだ理由としては、岡山は、果樹、鶏卵それぞれ農業産出額が全国9位3位と高位置にあり、農業が主要な産業でもあったので課題を解決したいと思ったからです。このような課題を解決するために規格外果物を使用したブランド卵の生産も行いましたが、岡山や地域を活性化したいという思いもあったため、体験型観光プランを通して岡山の農業を知ってもらい、魅力化創出を狙いました。そして、農業を通して持続可能な地域づくりを目指しています。

課題解決のための仮説と計画

近年は、地方に自然や豊かな環境を求めて余暇を過ごす方が多い傾向があることから、学校内でできる体験と観光プランを実施することで、農業への理解を得られ、魅力を感じてもらえることができ、岡山を活性化するきっかけになるのではないかと仮説を立て、観光事業の確立を目指すことにしました。そこで、四季折々に変化する日本の農業という特徴を生かして、それぞれの季節でしか体験できない内容をプランに組み入れました。どの季節も一人当たり1000円と価格を付け、年計4回のうち、1回目がエッグポプリ。2回目が本校で出た桃の種ストラップ。3回目がおかし1種類。4回目が活動の中で開発したフルーツ卵と特典も考えました。この観光事業を確立するために、令和6年度に4つの季節のプランの中から2つを無償で実施し、令和7年度に残りの2つを無償で実施することにしました。そして、令和8年度に全季節を有料で実施するとともに、地元の農家さんに提案&共同で実施することを目指します。



稲刈り体験



エッグポプリづくり

活動で工夫できたこと

実施活動で、私たちは子供たちが怪我をしないように最善の注意を払って活動を行いました。事前準備の際も卵の殻で怪我をしないようにピンセットで尖っている部分を取り除き、卵殻膜もはがし、綺麗に洗浄して菌が残らないようにしたりなど工夫をしました。稲刈りの際も、使い慣れていない鎌を使用するので、指が当たらないように見て回ったり、刈った後も稲の端で怪我をしないように注意を払いました。また、動物とのふれあいでは、指を噛まれないよう、丁寧に説明し、動物もケガをしないように、「優しく触るんだよ」などの声掛けを頑張りました。

活動の最後にはアンケートを取り、次回の観光プランがより良いものになるようにしました。また、参加者には特典として、瀬戸南高校のお駒を渡すなどして、次回も参加してくれるような工夫も行いました。



観光体験

活動で得た学び・気づき

OR合宿では、地域の方々にイノシシの皮を使用したカードケースづくりを教わりました。日常生活でも使えるとても利便性の良いものを作らせていただきました。また、パーポイントの作り方や文章の構成なども教わりました。更に、フィールドワークで話す際には、吉備中央町の地域の課題解決策などに向けた新たな考え方、視点、地域を広い範囲で簡単に考えると問題点もすぐに見つかるということ気づかされました。

今回の活動を通して、学校内で私たちが所属しているプロジェクト活動チーム「まるたま」について先生方にも深く知ってもらえたと思います。日常生活でも「まるたま」を応援してくださる方々が増え、次回の観光プランも「楽しみにしているよ」などの声をたくさん頂くことができました。活動の最後に行ったアンケートでは、様々な意見を聞くことができ、次回の観光プランに向けた良いアドバイスとなりました。

今回の観光プランについても、たくさんアドバイスを頂き、次回のプランへの良い糧となりました。観光プランの内容も全て一から考え、どのようにすることで参加者が喜んでくれるのか、時間をかけて計画をしました。観光プランが、先生方や周りの友人などにも褒められる機会が増え、とても良い経験をさせていただきました。人と関わることは簡単なことではありませんが、この学びを活かして次回の観光プランも頑張ろうと思います。

今後の展望・新たな取組み

今回の体験型観光プランの実施を通して、地域の特徴を活かした内容を取り入れたことで、改めて地域の良さや魅力を実感することができました。また、地元住民と関わることで、地元住民との関係強化を図ることができました。このことから、今後も引き続き、地域社会と関わりたいと考えています。また、今回の観光プランは先生方とお子様を呼んでの活動でしたが、次回はもっと対象者を広げて行っていこうと思います。

今後、モリンガという葉を使った研究も始めたいと考えています。その中でもモリンガは、健康に良いお茶として最近流行しています。栄養価の高いビタミンC、鉄分、カルシウム、ビタミンAなど血圧調整やお肌の健康にとっても良い食材となっております。半年前に岡山大学のモリンガ研究をしている方からモリンガの飼料を頂き、園芸化学科の方で研究を行っていますが、生物生産科も鶏にモリンガの飼料を給餌し、研究を行いたいと思っています。

実践活動時の動画や成果物等

動画URL	二次元コード	添付PDF なし

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	個人	ブロック	中国
---------	---	---------	----	------	----

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立吉備青少年自然の家	修了日	2024/8/10	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	吉備中央町の地域問題について、どう解決していくか。解決策やもう行われている活動について知る。				
実践活動期間	2024/10/1 ~ 2024/12 /2				
活動のタイプ	新たな活動				
共同実施者	有	瀬戸南高校、卵プロジェクトチーム「まるたま」3名と先輩3名の計6名で活動			
協力者	主な協力者			協力内容	
	所属	瀬戸南高校「まるたま」		観光プランの手伝い	
	氏名	築地あいり			
	所属	瀬戸南高校「まるたま」		観光プランの手伝い	
	氏名	友宗歩々			
	所属				
氏名					
協力者総数	6名		協力団体数	1団体	

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 17 日

事前:準備・打合せ	14日	本番:メインの活動	1日	事後:ふりかえり・報告	2日
-----------	-----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
SNS	自ら発信	2回	瀬戸南高校のInstagramを使って配信

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
10/1 ~ 10/2	①事前学習・打合せ等	瀬戸南高校	観光プランで先生たちへの案内の紙を作った
10/20 ~ 10/24	①事前学習・打合せ等	瀬戸南高校	観光プランで使う卵の殻と飾り、稲刈りの準備
10/25 ~ 10/25	①事前学習・打合せ等	瀬戸南高校	前日の打ち合わせ
10/26 ~ 10/26	②実践活動本番	瀬戸南高校	学校内でできる秋の体験型観光プランの実施
10/28 ~ 10/28	③事後打合せ・報告会等	瀬戸南高校	次の観光プランに向けての反省